

P2Pネットワーク実験協議会 シンポジウム



ハイマックス

ビジネス開発室：田辺浩一

チーフアーキテクト：山口隼也

B2B向けP2Pソリューションによる配信

eラーニングやデジタルサイネージなど、ビジネス用途における
セキュアなP2Pソリューションの可能性を探る

1. F-Orcとは？

2. B2B向けP2Pソリューション

3. 実証実験

1. F-Orcとは？

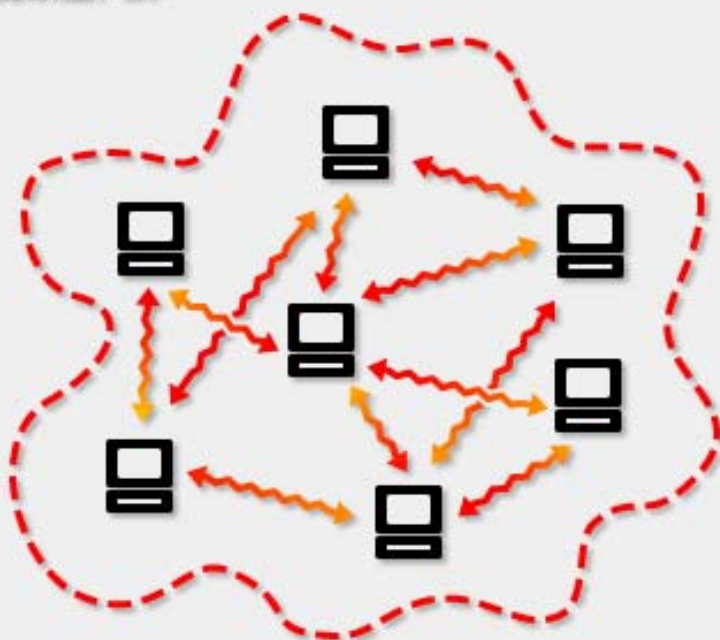
- ・完全に統制されたP2P
- ・堅牢なセキュリティ
- ・NAT Traverse

B2B向けソリューションのための必須機能

→ 完全に統制されたP2P

Completely Controlled P2P

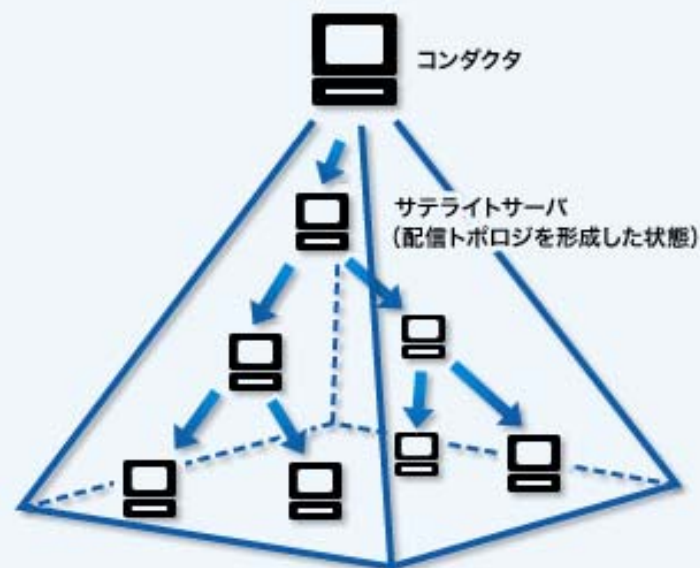
従来型P2P



✗ 管理されていないカオスな状態

✗ 無秩序なピア構成

F-OrcでのP2P



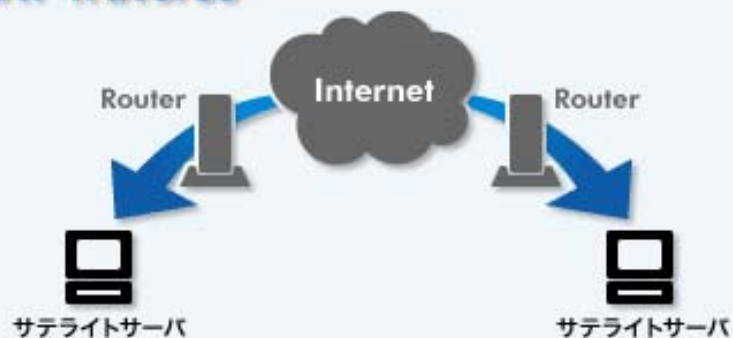
○ コンダクタによる中央集権管理

○ オーケストレーションされたサテライトサーバ構成



→ クールな配信機能 | Cool Delivery Functions

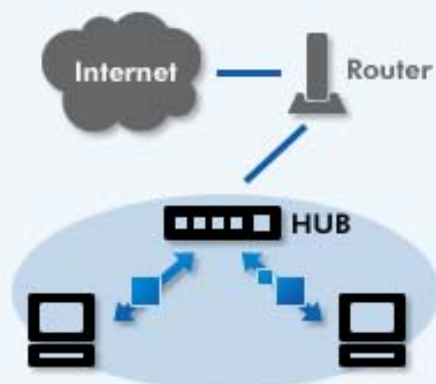
NAT Traverse



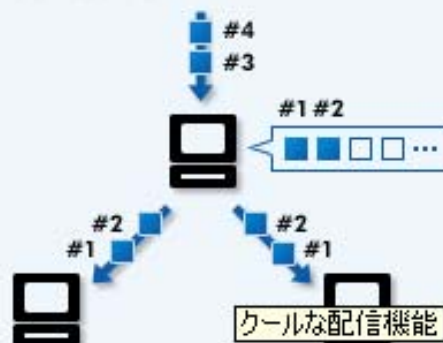
コンダクタの配信管理コンソール



LAN内配信



パッチャル/プログレッシブダウンロード



コンテンツの有効期限設定



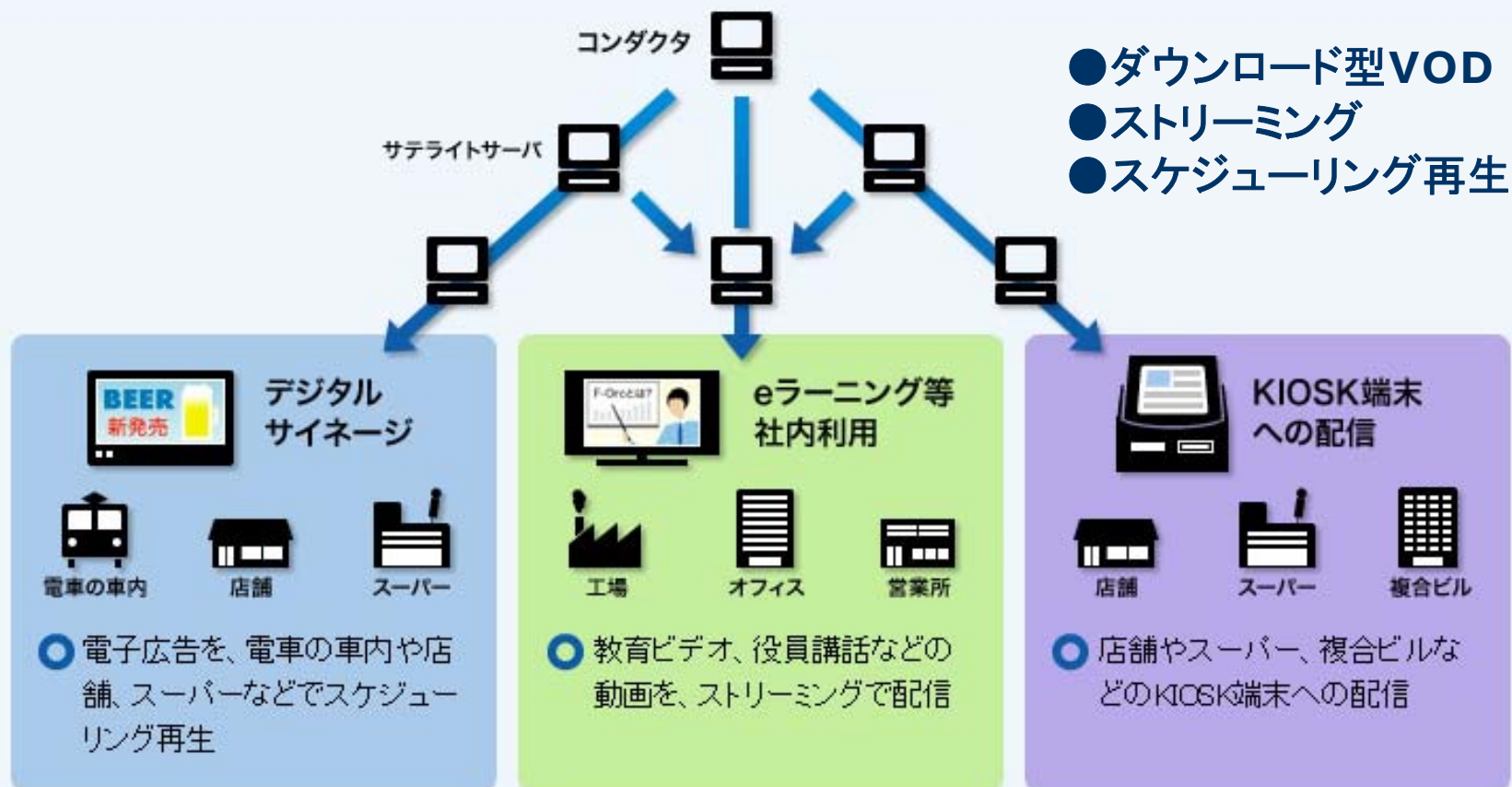
2. B2B向けP2Pソリューション

- ・動画配信
- ・電子カタログ配信
- ・モジュール配信

あらゆるデジタルコンテンツを配信可能

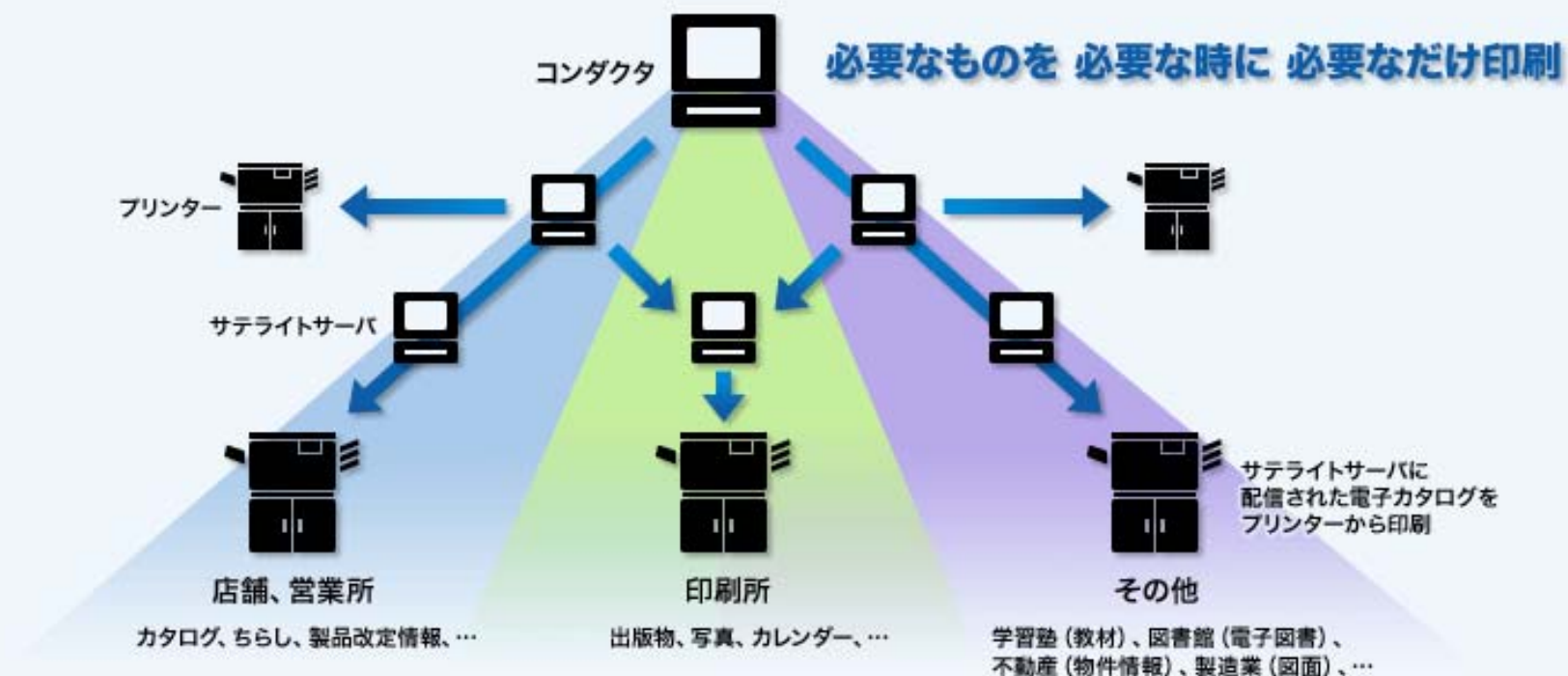
→ 動画配信

Video Delivery



→ 電子カタログ配信

Digital Catalog Delivery



● 大容量の
カタログや図面・地図の配
信

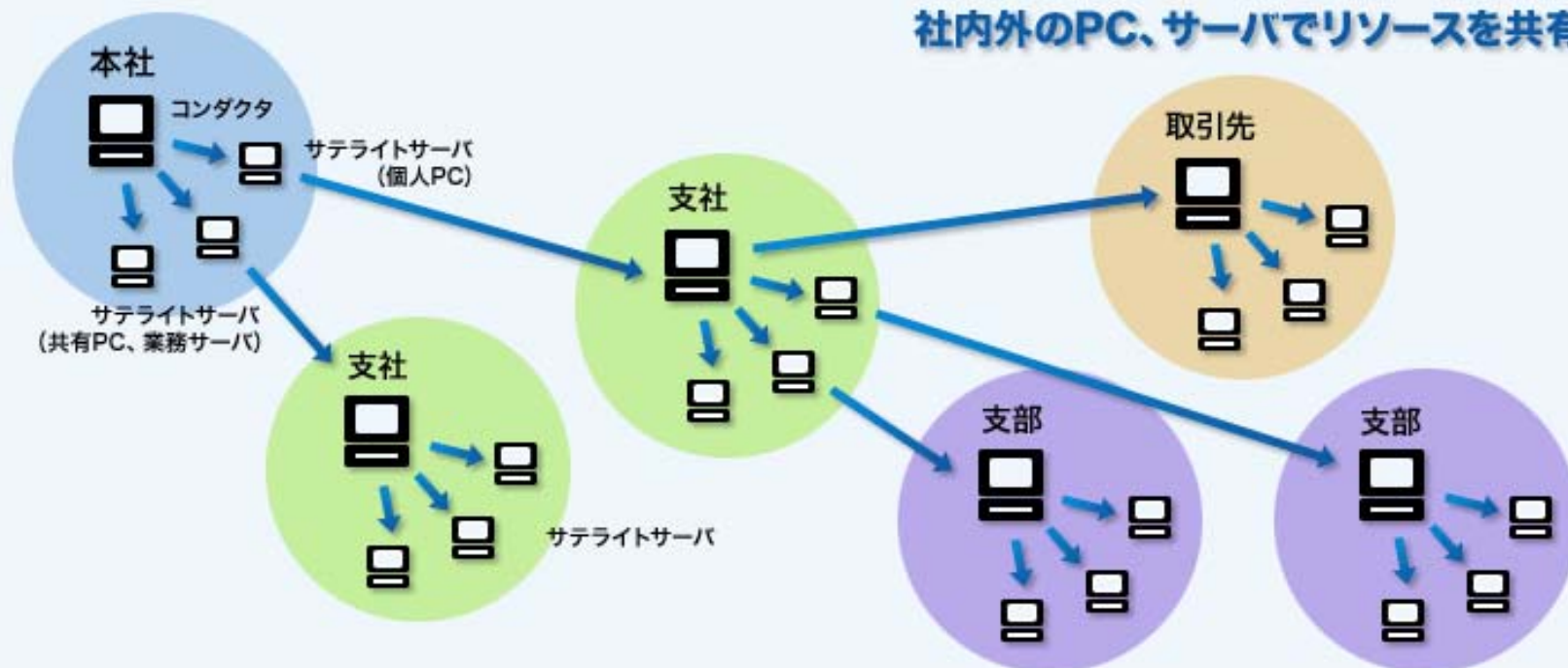
● カタログや出版物の版下
を
印刷所へ配信

● アライアンスで情報共有

→ モジュール配信

Module Delivery

社内外のPC、サーバでリソースを共有



● 標準的なモジュールの配信

● 支社別、支部別に配信

● 取引先やプロジェクトで情報共有

www.f-orc.com

以上はWEBからご覧頂けます。

3. 実証実験

➤ *Symphonic Streaming* の検証

ターゲット:

- ✓ E-ラーニング、デジタルサイネージ、ライブストリーミング

➤ *F-OSH* Engine に向けてのデータ採取

※F-OSH: F-Orc Symphonic Harmonizer

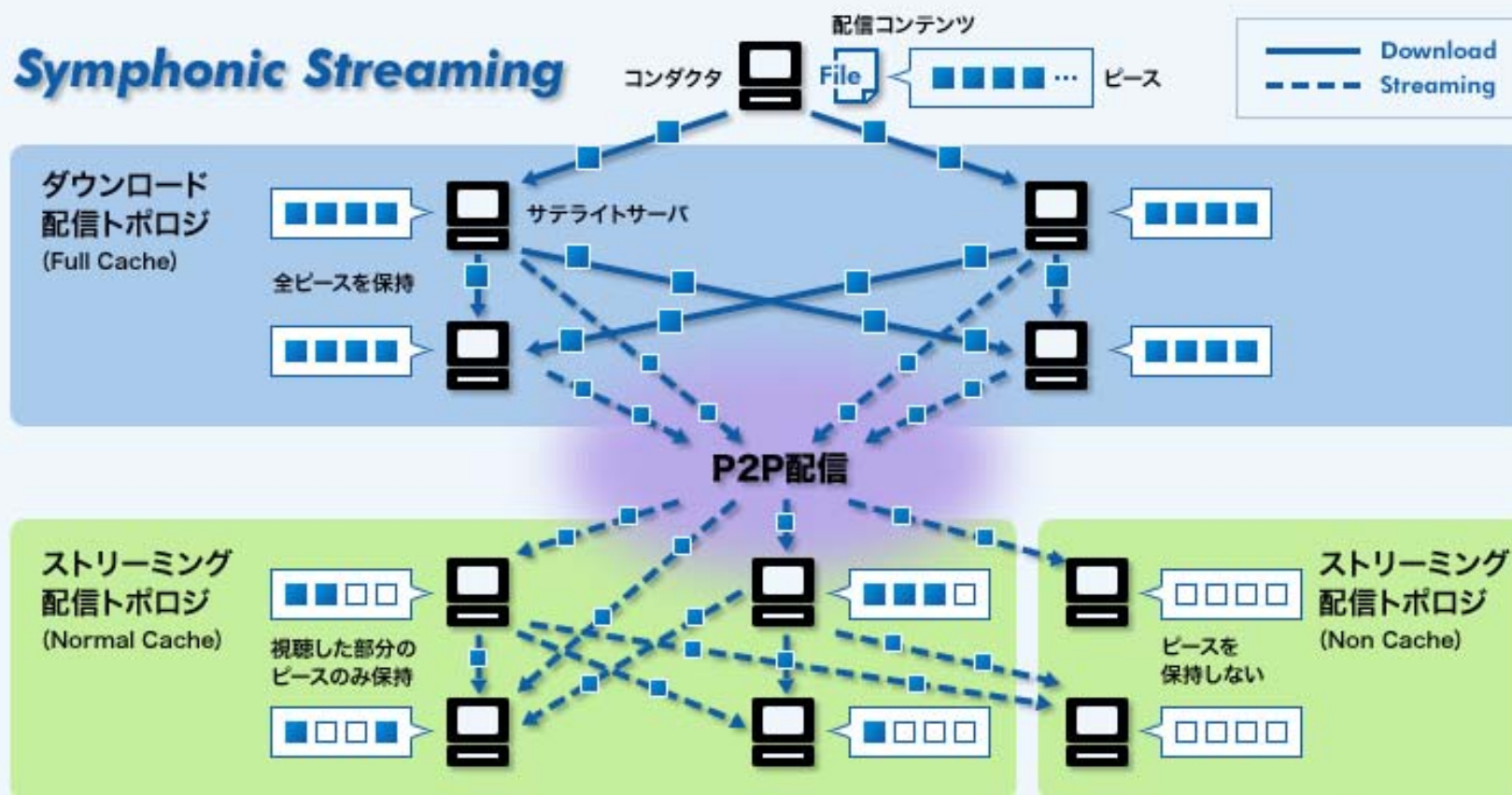
ターゲット:

- ✓ SaaS(ASP)、Device Embedded、API化

→ クールな配信機能 (ストリーミング)

Cool Delivery Functions (Streaming)

Symphonic Streaming



検証内容 (Symphonic Streaming)

➤ ストリーミング時の最適パラメータの検証

- ✓ 配信トポロジ
- ✓ 配信速度
- ✓ 使用帯域
- ✓ サーバ/クライアント負荷

➤ ライブストリーミング検証

- ✓ エンコーダ連携
- ✓ 配信Delay時間

→ 優れた拡張性（配信エンジン） | High Extensibility (Delivery Engine)

POWERED BY



POWERED BY



ASPサーバ



F-Orc
コンダクタ
アプリケーション



PC



F-Orc
サテライトサーバ
アプリケーション



- PC側の顧客システムへの
F-Orcの組み込み

P2P配信



KIOSK端末



F-Orc
サテライトサーバ
アプリケーション



- KIOSK端末への
F-Orcの組み込み



STB



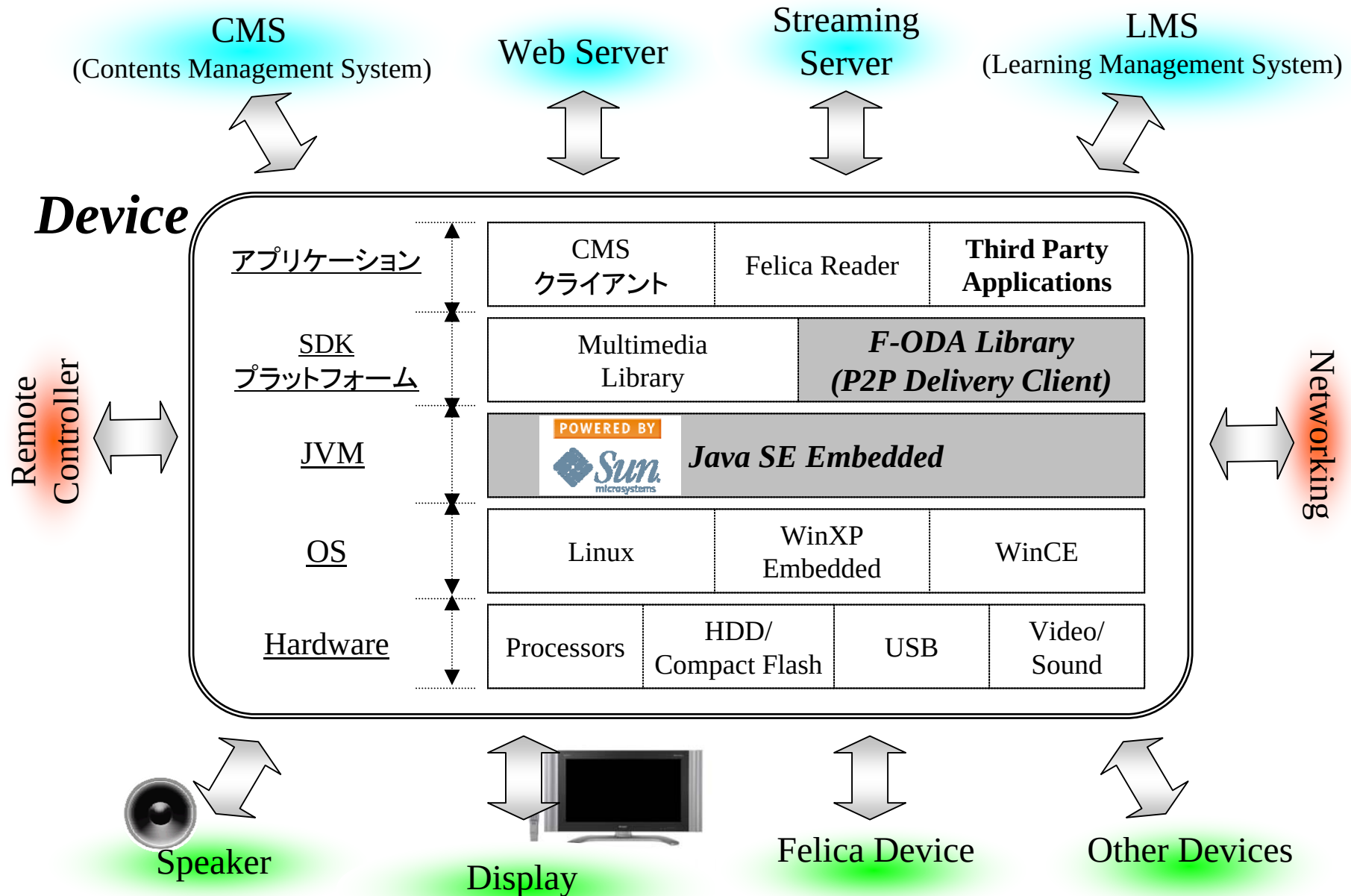
F-Orc
サテライトサーバ
アプリケーション



- STBへの
F-Orcの組み込み

各種システムに合わせて、F-Orcのアプリケーションを配信エンジンとして組み込むことが可能

F-OSH Device Embedded



www.f-orc.com

ご清聴ありがとうございました。